

2007年
8月1日
No.25

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

全国金融一般 鈴木委員長 長い間ご苦勞さまでした 地銀連特別執行委員を退任

地銀連第65回全国大会が、8月2日から3日、東京都港区の南青山会館で開催され、各単組の代議員が参加しました。全国金融一般労働組合からは、鈴木委員長が地銀連特別執行委員、山崎書記長と浦谷執行委員が代議員として参加しました。

大会では次の議題について報告・提案を受け、質疑・討論を行い、確認・採択しました。

- 第1号議案 2006年度・活動報告
- 第2号議案 2006年度・決算報告
- 第3号議案 2007年度・予算(案)
- 第4号議案 2007年度・活動計画(案)
- 第5号議案 その他

次に、2007年度役員選挙が行われ、次の方々が選ばれました。(敬称略)

中央執行委員長 谷 一明
中央執行副委員長 北川幸次

書記長 八戸 肇
中央執行委員 鈴木肇・岡野展子・中島康隆
会計監査 金福雄・宮城勇

この大会で、鈴木委員長は地銀連の特別執行委員を退任されました。鈴木氏は40年間にわたり労働運動に関わり、多くの闘いを指導してこられました。この9年間は地銀連の役員をされ、金融労働者の労働条件の維持改善・社会的地位の向上、銀行経営の民主化・銀行業の社会的使命の達成のために大きな功績をあげられました。

これからも、若い世代への架け橋を担って、ご活躍いただき、私たち組合へのご指導をよろしくお願い申し上げます。



退任のあいさつをされる鈴木委員長

成果主義賃金制度 従業員の意欲も疲労も長期的には悪化 予防活動には労働組合の力が不可欠

成果主義賃金制度の導入によって、従業員の意欲も探求性も、また評価への満足も一時的には高まります。しかし長期的には仕事のノルマや進捗管理の厳しさを生み出し、従業員の意欲も疲労も結局、長期的にはより悪化させています。

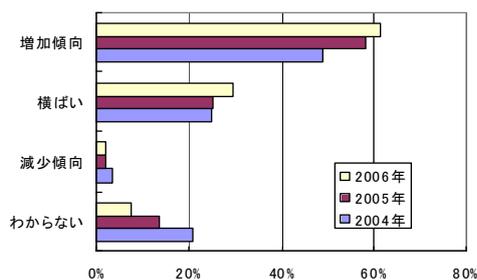
「心の病」が6割以上の企業で増加し、成果主義が本格的に導入される以前に比べて、「強い不安、悩み、ストレスがある」労働者が増加しています。(右図)

個別労務管理が進み、職場のコミュニケーションは減り、一人でする仕事が増えて、労働者一人ひとり孤立

が強まって、バラバラにされています。

心の健康を保持・増進するには、労働組合が今出番です。

最近3年間の心の病



メンタルヘルス研究所 調査結果から

職場の声

横のつながりがなく
忙しくても協力せず
ばらばらな状態

今勤務している店は、横のつながりがなく、忙しいときでもお互いに協力することをせず、みんなばらばらな状態です。

先日職場でいっしょに働いておられる方が倒られました。10年間ともに休みを取っておられないらしく、だれも仕事の内容を知らないで大変でした。

毎日くたくた
仕事と生活の調和が
とれる働き方を

いつまでに何をどれだけと厳しく上司に指示され、緊張して遅くまで仕事、それから家まで1時間、毎日くたくたです。こんな状態でいつまで働き続けられるのか不安です。

命と健康を
守り、仕事と
生活の調和が
とれる働き方
にしていきま
い。

